

令和7年度 ケアラー支援専門員設置事業  
【支援者養成研修】アンケート結果報告

【開催日時】2025年12月9日（火）13：30～16：30

【参加者数】42名

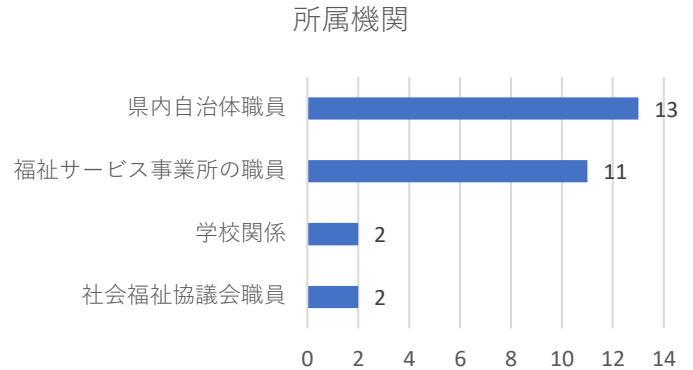
【開催場所】神奈川歯科大学附属横浜クリニック 7階大会議室

【回答数】39名

【回答率】93%

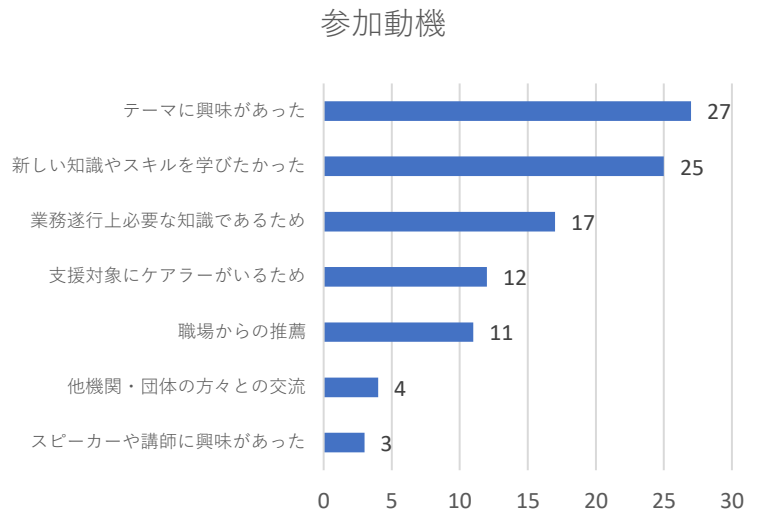
□所属機関

所属機関名	人数	(%)
県内自治体職員	13	34%
福祉サービス事業所の職員	11	28%
社会福祉協議会職員	2	5%
学校関係	2	5%
その他（通訳他）	11	28%
計	39	100%



□参加動機＜複数回答＞

項目	人数
テーマに興味があった	27
新しい知識やスキルを学びたかった	25
業務遂行上必要な知識であるため	17
支援対象にケアラーがいるため	12
職場からの推薦	11
他機関・団体の方々との交流	4
スピーカーや講師に興味があった	3
その他	0
計	99



①中嶋先生の講義

項目	人数	(%)
大変有意義だった	22	56%
有意義だった	16	41%
あまり有意義でなかった	1	3%
全く有意義ではなかった	0	0%
計	39	100%

### 【感想・ご意見】＜一部抜粋＞

- ・県から補助金をいただき、年間8回程様々なケアラーを招いてケアラー支援をしています。今日の講話を参考に包括に戻り共有して良いものが作れるようにいたします。
- ・ケアラーアセスメント・セルフアセスメント、利用していきたい。
- ・改めて日本の福祉は遅れているなと思いました。
- ・外国の情報や多くの参考資料をいただきありがとうございました。
- ・途中からの参加になってしまったので最後の方しか話を伺えなかったが他国のことは刺激的であった。
- ・ヤングケアラーの現状がわかり活用していきたい。
- ・「ケアラー」に関する知識がほとんどなかったため何もかも大変勉強になりました。
- ・ケアラー、ヤングケアラーの知識を深めることができました。
- ・知らないツールをたくさん紹介いただき学びになると共に、支援へ取り入れやすいと思いました。
- ・地域支援の話をもっと伺いたかった。
- ・ケアラーとは、という基本的なところから改めて学ぶことができました。
- ・世の中でケアラーという言葉が少しずつ浸透してあえて言わなくても相互・協互の世の中になれば良いと思います。

### ②当事者体験談（小林氏）のお話

項目	人数	(%)
大変有意義だった	36	92%
有意義だった	3	8%
あまり有意義でなかった	0	0%
全く有意義ではなかった	0	0%
計	39	100%

### 【感想・ご意見】

- ・当事者としての立場ということもあり一つ一つの表現が重くひびきました。中学の先生が「あきらめなくて良い」と言ってくれたことの素晴らしさを感じました。支援者が非言語でもそのメッセージを子どもたちに伝えることが大切と感じました。
- ・精神障害を持つ親の子どもの心理やどのような対応が必要なのか理解できた。周囲のあきらめの言葉が子どもの将来へのあきらめにつながってしまうことがわかった。
- ・体験の人格形成への影響、そしてそこからの回復力、感動しました。
- ・子ども時代に段階を経て成長していくのが当たり前ではないことを体験談を聞いて思った。
- ・ヤングケアラーの様子をじっくり聞けたのは良かった。
- ・今なら訪問やヘルパーに入ってもらえるのになと思いました。
- ・ご本人のお話は説得力がありますし、リアルな声をうかがえました。
- ・当時の気持ちを聞く貴重な機会をありがとうございました。
- ・当事者の声が聞けたことは今後の業務に生かせます。
- ・当事者の話しは多角的な視点を教えてもらった。

- ・ご経験にもとづくお話で心に響くものでありました。「社会人として求められるスキル」に対して真逆のことをなされていた、というのは何より印象に残りました。
- ・当事者・家族目線の話がとても参考になりました。
- ・大変な時のSOSが届かなかった、大変心きました。家族と支援者の関わり方、立場の違いを意識した支援を心がけたいと思いました。
- ・もう少し時間があつたら良かった。地域としてどんな風に関わっていけばよいか事例を聞きたかった。地域でどんな事をして欲しいですか？
- ・思ったこと、感じたこと、頑張っていたこと話してくださってありがとうございました。これからの支援に役立てたいです。
- ・発信されたSOSをしっかりキャッチしていきたいと思います。ケアラーである前にひとりの子ども、というところが心に染みました。
- ・実体験に基づく内容で理解しやすかった。

### ③事例報告

項目	人数	(%)
大変有意義だった	22	56%
有意義だった	14	36%
あまり有意義ではなかった	0	0%
全く有意義でなかった	1	3%
無回答	2	5%
計	39	100%

#### 【感想・ご意見】

- ・同じ行政として参考になった。
- ・若年性認知症、サービスではなく支え合い等の話。
- ・つながるのにも足を運ぶことがとても大切だと思いました。見習いたいです。
- ・地域に頼ることが大切だと思いました。
- ・大変をいろんな形にしていくことの大切さがわかりました。
- ・雑談9割・相談1割での伴走という考え方？（実践方法？）でとても参考になりました。
- ・重層的支援体制整備事業の重要性を感じました。すべての分野でひとりのケースワーカーが関係性を築くのが難しいので、どんなケースワーカーでもつながれる環境づくりは大変ありがたいと思いました。
- ・神奈川区でも多文化共生ラウンジとの共同で行っている事業と似ていた。生活支援・生活保護などにつながる緊急案件もあった。今後の課題として企業やNPOとの共働など、そんな事例をあげてみてよかったのではないかな？
- ・これからの行動につなげたい。
- ・行政側がそこまで汗をかくて主導しておられるのは素晴らしいと思いました。
- ・伴走していくという考え方、地域や自分の周辺とのつながり方を探ることのできる支援をしたいです。

#### ④グループ内感想共有

項目	人数	(%)
大変有意義だった	24	61%
有意義だった	14	36%
あまり有意義ではなかった	0	0%
全く有意義でなかった	0	0%
無回答	1	3%
計	39	100%

##### 【感想・ご意見】

- ・普段交流のない多職種・他分野の方々と情報交換ができてとてもよかった。
- ・時間が短く残念でした。
- ・様々なフィールド、職種の皆さんがそれぞれの立場でケアラー支援に課題を感じ行動されている事を共有できた。どう手を組んで伴走して行くのか？見えない未来を繋いでいく支援と思った。
- ・医療通訳さんなど単発の関りの方やケースワーカーなど継続したつながりのある立場など様々な方と話せて有意義でした。
- ・お互いの状況や仕事場でどんな事をしているのかを話合う。でも結局私達って何ができるのか？モヤモヤが残るがあきらめないでコツコツ伝えていくというのが大切だと思った。
- ・他の方の感じている支援者としての困り事や考えを共有共感できた。

#### ⑤研修についての感想

- ・多角的なお話を聞くことができ、今後の業務に役立てられると思います。
- ・ケアラーの支援は法的制度が整っていない、だからこそ地域でつながりケアラーを支えていくことが重要だと思った。
- ・体験談をきける機会があまりないので貴重な時間でした。
- ・明日、地域ケア個別会議で障害のある夫のケアしている妻の会議を開催する。その前に今回の研修に参加できたことがよかった。
- ・『ケアラー支援』次年度も期待しています。
- ・今日このような研修をありがとうございました。県域、それぞれの団体、機関の方とグループワークでお話できたことがとても良かったです。
- ・ヤングケアラーについて学びが深まったと思います。
- ・英国、ドイツのような国全体でケアラーを支援する体制が必要だと思いました。知識を深められた良い研修でした。ありがとうございました。
- ・とても学びになる貴重な話であったので、1日の研修でも良いと思いました。
- ・大変貴重な時間となりました。様々な機関の方々とお話しでき理解が深く広くなりました。
- ・ケアラーの研修は初めてだったので大変参考になりました。
- ・行政の立場の方達との話ができた。
- ・色々な職種、立場での話を聞く機会が勉強になりました。
- ・大変学びが多く、参考になりました。とても良い時間でした。

- ・異なる角度からの3つのお話でケアラーに関する理解が進みました。
- ・また参加したいです。
- ・様々な立場の意見が伺えて学びになりました。
- ・地域に住む子ども達にとって結局どんな事をしたらよいか？を考えたり連携する会にしたいと思う。知識は増えたのでこれからどう地域で活かすかを話し合いたい。
- ・ケアラーについて大変勉強になりました。今後、色んな場面の通訳に活用したいと思います。
- ・ケアラーを社会的に認知していくのは難しいなと感じた。法律も作っていかないと！と思った。
- ・興味深いお話を聞くことができました。
- ・事例をもっとたくさん知りたいと思いました。

#### ⑥ケアラーについての理解を深めるためどのような研修が必要か

- ・支援者向けの知識・技術のレベルアップ研修。
- ・ピアな立場の方のお話を多くうかがいたい。
- ・きょうだい児のリアル。
- ・福祉と教育の機関が意見交換したり交流する機会がないため、教育機関（学校の教員、SC、SSWの方）との研修。
- ・プライバシーに関わることで難しいと思うが実体験の話を聞くことはとても大切だと思いました。
- ・ケーススタディなど。
- ・重層的支援体制整備事業について、取り組みをさらに知りたい。地域別の現状と取り組み、神奈川県の中でも地域差が大きいけどどう違うのかを皆に知って欲しい、知りたい。
- ・ケアラーご本人のお話をお伺いしたいです。
- ・当事者講師の研修（小林様の話は大変身につまされました。）
- ・ケアラー・ヤングケアラーの実際の生活ぶり、そこにある困難、具体的に解決に役立つ制度などより詳細に伺いたいです。
- ・参加者同士の交流があると良いと思いました。
- ・本人の希望しない支援や支援拒否の支援などのテーマで研修があったらうれしいです。
- ・実際の地域支援の実例。又、ケアプラザがどんなサポートをしているかの事例。場の立ち上げ、継続、その後どう発展させるかの部分の勉強や例を教えて欲しい。実践体験を伺いたい。地域の自治会の方もヤングケアラー・ケアラーに関しても意識が高いが実際に活動をしていく中で(大変お忙しい中で)どう一緒にやっていってもらえるか地域性を活かす方法なども学べる時間になればいいのではないかな？
- ・ヤングケアラーについての周知、認知度向上に向けた効果的な取り組みについて。
- ・事例検討を他職種でできると今後の仕事に役立つと思いました。